

## 2008年度 放電学会第2回理事会議事録

1. 日時：平成20年6月6日（金） 11:15～12:55
2. 場所：芝浦工業大学 豊洲校舎 研究棟11階 電気系会議室
3. 出席者：日高会長（東大）、田中副会長（三菱電機）、湯本副会長（武蔵工大）、大木研究企画理事（早稲田大）、鈴木研究企画理事（東芝）、野末総務会計理事（芝浦工大）

（敬称略、順不同）以上6名

### 4. 配布資料

1. 議案項目等
2. 年次大会概要および会告
- 3 若手セミナー実施にあたっておよび若手セミナー実施（案）
- 4 入会届

### 5. 議事要旨

#### 5.1 年次大会について

- ・大木研究企画理事より案が説明された。詳細は下記。
- ・特別講演者として小田哲治先生（東大、静電気学会会長）をお願いする。
- ・講演教室は無料の教室を3部屋用意する。

## 2008年 放電学会年次大会

大木（早大）

本年度で第4回目となる年次大会を企画した。学術団体になることを目指し、一般論文発表の場として年次大会を継続して実施する。構成は口頭発表とポスターセッションとする。特に、次代を担う若手研究者が、気楽に発表や意見交換・討論を行い相互研鑽できるよう配慮し、その一環として優秀な発表に対しては表彰を行う。併せて、学界、産業界の垣根を越えた交流を通し研究のベクトル合わせや相互理解の深化、研究の輪の拡がりを図る。

開催日時：11月15日（土）13:00～17:00

場 所：早稲田大学 大久保キャンパス

### (1)一般論文（13:00～16:20）

口頭発表：40～50件

ポスター：20件

会 場：口頭発表4教室、ポスター1教室 計5教室

若手優秀発表賞：あり

口頭発表（35才以下）とポスター（27才以下）：それぞれ数件  
（賞状、副賞）

懇親会で表彰

**(2)特別講演（16:20～17:00）**

講演者、演題：調整中

参加費：会員(名誉会員を含む) 3,000円、学生 1,500円、非会員 5,000円

(注) 予稿集(CD)込みの参加費

セッション毎の別刷は若干部数を準備

懇親会：17:30～（会費：会員(名誉会員を含む) 5,000円、学生員 2,000円）

若手優秀発表賞表彰

主催：放電学会

協賛：電気学会A部門、静電気学会、レーザー学会、応用物理学会、プラズマ・核  
融合学会

実行委員会（敬称略）

委員長：大木（早大）

委員：日高（東大）、湯本（武蔵工大）、田中（三菱）、新藤（電中研）、鈴木（日大）  
（兼HP）、朽久保（首都大東京）、中村（慶大）鈴木（東芝）中野（防大）

会計：高野（富士）

事務局：野末（芝浦工大）

幹事：平井（早大）（現地実行委員長）

幹事補：布施（早大）（現地副実行委員長）

幹事補：劉（早大）（現地実行委員）

## 2008年 放電学会 年次大会のご案内と論文募集

放電学会年次大会を以下の通り開催します。講演論文を募集しますので奮ってご応募ください。

若手優秀発表賞も準備しています。最新情報は放電学会ホームページ\*に随時公開致しますのでご覧下さい。

(\* <http://www.las.ele.cst.nihon-u.ac.jp/IEEDJ/index.html>)

会期：2008年11月15日（土）13:00開始

会場：早稲田大学（大久保キャンパス）（〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1）

（アクセス <http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/index.html> 参照

2008年6月14日開業予定の東京メトロ副都心線「西早稲田駅」下車徒歩約1分）

論文：放電とその応用に関する幅広い分野の論文を募集します。

原稿は論文Ⅰ（1～2頁）と論文Ⅱ（4頁以上）の2種類です。

（注）論文Ⅰ：口頭発表（発表時間：15分、質疑：3分を含む）とポスターの2種類

論文Ⅱ：口頭発表（発表時間：25分、質疑：5分を含む）で、学会誌へ  
同時投稿するもの（査読のある論文）2種類

分野：

1. 放電・高電圧・プラズマ・計測
2. エレクトロニクス応用（ex. 半導体プロセス、表示素子、自動車応用、光源ほか）
3. 電気機器・環境応用（ex. 一般産業機器、プリンター、排ガス処理、廃棄物処理ほか）
4. 新分野・新材料（ex. 超電導、太陽電池、表面改質、ナノ材料ほか）

講演申込期間：2008年8月25日（月）～9月13日（土）、電子メールで申込（申込先：後日掲載）

原稿提出期間：2008年9月15日（月）～10月11日（土）、電子ファイル（MS-Word）で提出

（提出先：後日掲載）

表彰：

1. 若手（35才以下）の優秀論文発表賞
2. 若手（27才以下）の優秀ポスター発表賞

なお、表彰対象者は論文筆頭者に限り代理発表は審査対象外です。

表彰式は当日の懇親会で行います。

参加費：放電学会会員（名誉会員を含む）3,000円、学生1,500円、非会員5,000円

懇親会：年次大会終了後に引き続き実施

（懇親会費：正会員（名誉会員を含む）5,000円、学生会員2,000円は別途申し受けます）

主催：放電学会

協賛（依頼中）：電気学会 基礎・材料・共通部門、静電気学会、レーザー学会、応用物理学会、

プラズマ・核融合学会

問合せ先：

大会に関する問合せ：

早稲田大学 理工学術院 電気・情報生命 大木義路

TEL：03-5286-3375、E-mail：yohki@waseda.jp

芝浦工業大学 工学部 電気設備学科 野末鉄有

TEL & FAX：03-5859-8570、E-mail：nozue@sic.shibaura-it.ac.jp

大会会場に関する問合せ：

早稲田大学 理工学術院 電気・情報生命 大木義路

TEL: 03-5286-3375、E-mail: yohki@waseda.jp

論文投稿に関する問合せ:

日本大学 理工学部 電気工学科 鈴木 薫

TEL & FAX: 03-3259-0770、E-mail: kaoru@ele.cst.nihon-u.ac.jp

— 以上 —

## 5.2 若手セミナーについて

- ・鈴木研究企画理事より案が説明された。詳細は下記。
- ・開催日時及び会場は11月14日(金)より11月15日(土)、八王子セミナーハウス。
- ・大学と企業の共同研究を3~4件依頼する。
- ・賛助会員企業に協力を依頼する。
- ・以上の折衝は鈴木研究企画理事が担当。

## 放電学会若手セミナー実施にあたって

### 1. 若手セミナーの目的

- (1) 大学生のレベルアップ
- (2) 若手放電研究者の横の繋がり、情報網構築。ネットワーク作り
- (3) 企業の中堅放電技術者の育成の一助

### 2. 現状の問題点

- (1) 大学生のレベルと企業若手技術者のレベル差が有、企業側からはあまり得るものが少ない。そのため、参加率が低い。ただし、権威ある先生方の話はためになる。
- (2) 学生さんにとって自分がやっている放電の研究が、企業の製品あるいは事業にどのようにつながっているか理解できていない。

### 3. 若手の人集めの方法とやり方

・若手教育、育成に十分手が打ててない学会との共催。(若手の育成ができていない学会は、一緒にやりたがらない?)

・大学博士課程か助教レベルと企業若手とのグループで話ができれば、役に立つかもしれないので、講義は、従来どおり大学の先生に最近のトピック的な研究を基礎理論から講義してもらう。

参加者を以下2グループに構成し、

1グループは、企業の若手+大学助教+博士レベル(ややレベルの高いグループ)

もう1グループは、大学修士以下レベルのグループ

を作ってテーマを決めて(あるいは、各グループでテーマを決めて)議論

・大学と企業間で実施している共同研究でやっていることを大学側と企業側から発表してもらうと学

生にとって放電研究の興味や意欲が沸くかもしれないので、大学と企業との間で行われている共同研究の研究内容や役割について先生や企業から発表する。(社外秘のところがある場合は、学会の大会で発表されているレベルで可能とする)

#### 4. 議論するテーマ(案)?

- (1) 各グループで決める。(事前にグループ分けをしておき、テーマ名を考えてもらう)
- (2) 放電技術、研究をより発展させるにはどのようにしたら良いか?
- (3) 放電技術、研究をより魅力的にするには?
- (4) 放電技術を使った将来の夢の製品
- (5) 放電技術の基礎と応用について
- (6) 放電学会の若手セミナーはどうあるべきか

#### 5.3 入会について

1名の入会を承認。

#### 5.4 ACEDへの参加依頼があった

以上